

令和5年度  
事業報告

学校法人 中井学園  
新ひのお台幼稚園

## ◎2023年度事業計画(チームの船出)振り返り

評価尺度:「S(達成度 100%以上)」「A(達成度 75~99%)」

「B(達成度 50~74%)」「C(達成度 49%以下)」

- ① コンセプトブックを作成し、同じ方向を向いて保育を考え、組み立て、実践するチーム作りを継続的に行う。

評価:「C」

<input checked="" type="checkbox"/>	コンセプトブックに記載されている内容理解の為の研修の実施(正職員)
<input type="checkbox"/>	コンセプトブックに記載されている内容理解の為の研修の実施(パート勤務職員)
<input checked="" type="checkbox"/>	理念に基づいたカリキュラムの再構築
<input type="checkbox"/>	理念に基づいたミーティングの実践
<input type="checkbox"/>	コンセプトブックに記載された価値観を全職員に共有

- ・ブックを作成し、周知の為の研修は実施しましたが、意識改革までには至らなかったように感じます。即効性のあるものではないので、時間を掛けて実践に繋げていきたいと思います。

- ② 人員配置を強化し、「写真記録」の優先順位を上げて、ドキュメンテーション作成に挑戦する。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	1クラス保育者2名体制の維持
<input checked="" type="checkbox"/>	写真記録を保育日誌に載せる
<input checked="" type="checkbox"/>	写真記録を毎日ホームページにアップし、保護者に保育情報を開く
<input checked="" type="checkbox"/>	「園の様子」に写真を掲載し、より分かりやすい形にする
<input type="checkbox"/>	写真を用いた振り返りを行い、子ども理解を深め、保育の質向上に繋げる

- ・副主任の清瀬がシフトを作成し、極力2名体制が維持出来るよう努めてくれました。また、保育における「記録撮影」の重要性や習慣が身に付いたと思います。

・ホームページにアップした写真記録

写真記録を載せた保育日誌



- ③ 1カ月に1回、仲良しデー(異年齢交流)を行う事で、保育者間の情報共有と価値観の拡大に繋げる。

評価:「B」

<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢・異学級との交流の大事さに気付く
<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢・異学級との交流の機会を定期的にする
<input checked="" type="checkbox"/>	長期休みの際に仲良しデーを実施する
<input checked="" type="checkbox"/>	レギュラーシーズンの中で定期的に仲良しデーを行う
<input type="checkbox"/>	コーナー遊びを園全体で重視し、実践する

- ・ 朝礼(園児全員が園庭に集まる機会)前後に戸外遊びを行う時間を取り、異年齢・異学級交流の場を作りましたが、結果としては同じクラスの子らで遊ぶ姿が多く見られました。
- ・ 年少(3歳児)のみ、2学期から定期的に異学級交流事業を行っています。

- ④ ECEQ®公開保育を通じて、自園の強み、課題、方向性、問いを洗い出し、自ら学びを深める集団作りに繋げる。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	事前のワークショップで自園の強みや課題を明確にする
<input checked="" type="checkbox"/>	問い作りを通して、常に問い掛ける習慣を身に付ける
<input checked="" type="checkbox"/>	ECEQ®公開保育を通して、保育を改善する
<input type="checkbox"/>	公開保育後のワークショップでこれからの方向性を共有する
<input checked="" type="checkbox"/>	自園の課題を自ら解決する

#### ECEQ®公開保育 概要

STEP	日時	所要時間	内容	参加者
1	5/1	14:00~ 16:00	トップリーダー ヒヤリング	ECEQ®コーディネーター4名 園長・桃田・清瀬・淡野
2	5/12	15:00~ 17:00	事前園内研修	ECEQ®コーディネーター4名 年少~年長 担任 園長・桃田・清瀬・淡野
3	5/29	15:00~ 17:00	「問い」作り研修	ECEQ®コーディネーター4名 年少~年長 担任 園長・桃田・清瀬・淡野
4	7/3	9:00~ 16:30	公開保育・分科会 全体会	ECEQ®コーディネーター4名 他園の参加者 年少~年長 担任 園長・桃田・清瀬・淡野
5	7/7	15:00~ 17:00	ふりかえり	ECEQ®コーディネーター4名 年少~年長 担任 園長・桃田・清瀬・淡野

- ・ ワークショップ型の園内研修を通して、園の課題が明確になりました。保育の課題というよりは、働き方の課題事項が多くありました。1番大きな課題事項は通園バスが3便ある事で、園全体として、子どもの滞在時間が長く、保育者の拘束時間が長いという事です。ただし、バスを減便或いは廃止する事は、園の経営に悪影響を及ぼしますので、保育者の業務量削減という策が現実的です。実際に2学期よりトイレ掃除をシルバーパートの方に担って頂き、業務量の削減に取り組んでいます。また、作品展では多くの保育者が残業・持ち帰り仕事に追われており、作品展後には先生達から問題提起や話し合いの場を持ちかける等、自分達で改善していく為にエネルギーを使う姿が見られます。これらはECEQ®を行った事で得られた産物だと考えます。

- ⑤ 「自然と親しむ」とは何か、幅広い定義で考え直し、その中で農園や果樹園の位置付けや活用方法を見出し、「食」と「命」の関心を高める。

**評価「B」**

<input type="checkbox"/>	「自然と親しむ」を考え直す機会やミーティングを持つ
<input checked="" type="checkbox"/>	果樹園での収穫体験を楽しむ
<input type="checkbox"/>	富蔵農園での収穫体験を楽しむ
<input checked="" type="checkbox"/>	クラスで栽培する花や野菜に関心を持つ
<input checked="" type="checkbox"/>	「食」や「命」の関心を高める為の保育を実施する

- ・ コロナ禍もひと段落しましたので、年長児の秋の鮭の解体ショーを通して、「食」や「命」の関心を高める為の保育を実施しました。
- ・ 富蔵農園を訪れる事は出来ませんでした。
- ・ 果樹園での収穫体験は例年通りでした。

- ⑥ 毎朝の論語の素読を実践し、集中力を養い、道徳教育を確立する。

**評価「A」**

<input checked="" type="checkbox"/>	毎朝論語の素読を実践する
<input checked="" type="checkbox"/>	保育者の話を集中して聞ける姿勢を養う
<input checked="" type="checkbox"/>	思いやりの心を育てる
<input checked="" type="checkbox"/>	論語の内容や教訓を実生活に取り入れる

- ・ 保育者の振り返り談の中で、論語の教訓を活用して子ども同士の間関係構築を行うエピソードが多くありました。
- ・ 小学校連携・接続事業に取り組む中で、授業風景を見る機会が多くあり、そこで卒園児が授業に意欲的に取り組む姿を見る事が出来ました。

- ⑦ 年長組の偉人伝や、年中組の紙芝居による昔話は、双方向コミュニケーションによる、アクティブラーニングを継続して行う。

**評価「A」**

<input checked="" type="checkbox"/>	年長児が、より主体的に偉人伝に関われるようアップデートする
<input checked="" type="checkbox"/>	年中児が、より主体的に昔話に関われるようアップデートする
<input checked="" type="checkbox"/>	双方向コミュニケーション型の偉人伝を実践する
<input checked="" type="checkbox"/>	双方向コミュニケーション型の昔話を実践する

- ・ 年度初めに偉人伝の講師をミーティングを行い、子ども達同士の対話の機会を減らす代わりに、導入に力点を置き、詩や季節の話といった身近な話題で子ども達とのコミュニケーションを活性化させ、本題である偉人のお話の理解度を上げて、対話の質を高めました。

- ⑧ クラス内の対話機会を増やし、子ども達の発想や意見を多く取り入れたクラス運営を行う。「対話のプロセス」を見える化し、対話の進め方をある程度平準化する。

**評価「B」**

<input checked="" type="checkbox"/>	対話の重要性を保育者が認識し、実践する
<input type="checkbox"/>	日常的に子ども達同士の対話を促し、クラス運営に対する子どもの主体性を育てる
<input checked="" type="checkbox"/>	作品展は、子ども達同士の対話でテーマを設定し、意欲を高めながら進める
<input type="checkbox"/>	対話のプロセスを見える化し、保育者同士で共有しながら平準化する

- ・ 作品展など、対話しやすい行事に関しては対話を通して行うことが出来ました。製作・絵画といった美術系のカテゴリは対話しやすいのに対し、体育や音楽といったカテゴリでは対話が発生・展開しにくく、プロセスの見える化も行いにくいと感じています。保育の在り様も含めて再考していきます。

- ⑨ キンダーカウンセラーと、担任および補助教員の研修機会を増やし、園全体の特別支援に対する環境を強化する。

**評価「B」**

<input checked="" type="checkbox"/>	各学年の担任教諭とカウンセラーが情報交換・共有・アドバイスの場を持つ
<input checked="" type="checkbox"/>	各学年のクラス補助の先生とカウンセラーが情報交換・共有・アドバイスの場を持つ
<input type="checkbox"/>	園全体の特別支援に対する研修を行う
<input type="checkbox"/>	園全体の特別支援に対する環境を強化する

- ・ 昨年度までは、担任教諭向けのカウンセラー研修が全体で一方教授型だったのに対し、今年度は各学年とカウンセラーという小さな単位で行う事で、現場の情報をもとにした研修を行いました。一長一短あるとは思いますが、カウンセラーと先生達の関係性を深める上では、今年度のような小さい単位で行う方が良かったと思います。

## ◎研修計画

- ① ECEQ®と公開保育を完遂し、保育者一人ひとりのモチベーション及びスキルアップを図る。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	ECEQ®公開保育を完遂する
<input checked="" type="checkbox"/>	保育者のモチベーションを上げる
<input checked="" type="checkbox"/>	保育者のスキルを上げる
<input checked="" type="checkbox"/>	園全体の保育の質を上げる

- ・分科会で参加者から厳しい指摘を受けた学年もありましたが、様々なアドバイスを頂き、実践に繋げる事が出来ました。

- ② 教諭 1 人につき 1 回以上、自分の保育を園内教職員向けに公開する。

評価:「C」

<input type="checkbox"/>	自分の保育を園内教職員向けに公開する
<input type="checkbox"/>	自分の保育を公開し、フィードバックを受ける
<input type="checkbox"/>	フィードバックされた内容をもとに、保育を再考し実践する

- ・私の管理不足で実践に至りませんでした。

- ③ 昨年度同様、先生自身の成長意欲の評価対象として、園外研修回数に応じて加算評価を行い、学びに対する意識の向上を図る。

評価:「B」

<input checked="" type="checkbox"/>	年間40回以上研修を受講する
<input checked="" type="checkbox"/>	年間60回以上研修を受講する
<input checked="" type="checkbox"/>	年間40回以上かつ、全正職員が 1 回以上受講する
<input type="checkbox"/>	年間40回以上かつ、全職員が 1 回以上受講する

- ・今年度は保健室と保健教諭を配置した事で、「健康領域」の研修受講が増えました。
- ・保幼小連携・接続を強化した事で、その内容の研修受講が増えました。
- ・堺私幼、大私幼、堺市教育センターと幅広い研修主体で受講しました。
- ・小学校接続として、研究授業・討議会、小学校主催の連絡会に参加し、園児と児童の交流事業もコロナ前よりも増え、連携・接続に対する意識も変わってきたと感じています。

- ④ 定期的な安全教育(防災・防犯訓練)と体験型の遠足を行う。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	毎月避難訓練を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練をアップデートする
<input type="checkbox"/>	防犯訓練をアップデートする
<input checked="" type="checkbox"/>	防災体験型遠足を行う(年長児)

- ・昨年同様に実施出来ました。
- ・避難訓練については、2・3 月は教職員や園児にも日時を通告せず実施し、緊張感の高い形で実施しました。



- ⑤ 音楽教育(奥原先生による音楽研修)を定期的に行い、担任教諭の音楽活動に於ける様々な判断基準を養う。

評価:「B」

<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に音楽研修を実施する
<input checked="" type="checkbox"/>	担任教諭の音楽活動に於ける判断基準を養う
<input type="checkbox"/>	養われた判断基準をもとに、園児の音楽活動を再構築する
<input type="checkbox"/>	子ども主体・子どもの育ちを真ん中にした音楽活動を展開する

- ・ 発達年齢ごとの音域等の研修を奥原先生にして頂き、年齢やクラスの特性に於ける課題曲選びに取り組みました。

- ⑥ 振り返り(自己評価)と、クラス内の関係性を見える化を学期ごとに行う。

評価:「B」

<input checked="" type="checkbox"/>	振り返りを学期ごとに行う
<input checked="" type="checkbox"/>	振り返り内容を次の期の保育に活かす
<input type="checkbox"/>	クラス内の関係性が見える化を学期ごとに行う
<input checked="" type="checkbox"/>	人間関係だけでなく、モノやコトに対する関係性にも着目する

- ・ 振り返りを学期ごとに行い、教員のモヤモヤを解消し次の学期に見通しを持って取り組めるよう努めました。
- ・ 子どもを真ん中に見る時、人間関係だけでなくモノやコトとの関係性にも着目した「主体性つながり論」を全教員と共有し、視点をアップデートしました。

- ⑦ 評価委員に保育を公開し、それをもとにした学校関係者評価委員会を行う。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	評価委員に保育を公開する
<input checked="" type="checkbox"/>	評価委員からフィードバックをもらう
<input checked="" type="checkbox"/>	もらったフィードバックをもとに保育を再構築する
<input checked="" type="checkbox"/>	学校関係者評価委員会で公開保育の内容をふりかえる

- ・ ECEQ®公開保育に評価委員の方(新檜尾台小学校 古谷校長先生)をお招きし、保育を見学して頂き、フィードバックを頂きました。

## ◎保育時の重点項目

① 「子どもの姿」に基づいて、月案・週案・日案を計画し、柔軟に実施する。

評価:「B」

<input checked="" type="checkbox"/>	「子どもの姿」を捉える
<input checked="" type="checkbox"/>	捉えた「子どもの姿」をもとに、月案会議を行う
<input type="checkbox"/>	捉えた「子どもの姿」をもとに、週・日案を計画する
<input checked="" type="checkbox"/>	決めた計画に固執せず、柔軟に実施する

- ・ 毎日写真を撮り、それを日誌に掲載し、その日誌を月案会議の初めに前月の振り返りに活用する事が出来ました。各担当がエピソードを語る事で保育を語る習慣を身に付けると共に、意見交換が活性化しました。
- ・ 週日案では上記の資料を活用して組み立てるまでには至りませんでした。ただ、各担当は「子どもの姿」をイメージしながら計画を立てていました。

② 個人差を理解した上で保育を組み立てる。(2歳児及び満3才児保育の指導)

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	個人差を理解する仕組みを確立する
<input checked="" type="checkbox"/>	月齢差と個人差の違いに視点を持つ
<input checked="" type="checkbox"/>	「皆でみんなを見る」仕組みを維持・成長させる
<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりを重視した保育を、保護者に向けて表現する

- ・ クラス補助を定期的にシャッフルする事で、個人差を理解する仕組みと、「皆でみんなを見る」仕組みを確立しました。
- ・ 作品展では展示方法をアップデートし、一人ひとりを重視した表現方法に挑戦し、保護者からも好評を頂きました。(下の写真)





- ③ 食に対する好き嫌いを減らすような工夫や声掛けを行う。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	年度初めは、少量でも、一口でも良いから食べられるよう促し、出来た時は精一杯褒める
<input checked="" type="checkbox"/>	事前に完食できる量を予測・調整し、完食できる喜びを感じられるようにする

- ・ 全教職員で上記の価値観は共有出来ています。

- ④ 常に園児と健康と安全に留意し、注意深く園児を観察する。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	保健教諭が中心となって、健康や安全に対する情報発信や仕組み作りを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	保健教諭と担任教諭が常に情報交換を行い、元気の無い園児やいつもと様子が違う園児を見逃がさずに、触診・検温する
<input checked="" type="checkbox"/>	戸外遊びでは、三輪車やボール等をエリア分けして、ケガの無いように環境設定する

- ・ 保健室・保健教諭の主体的な働きかけにより、様子が違う園児に対する速やかな状況判断と保護者連絡、通院対応が出来ました。

- ⑤ 活動の始まりには立腰の声掛けを行い、挨拶は視線を合わせて行き、元気な返事に対しては必ず承認を行い、年齢に応じた靴揃えを行う。(ルーティンワークを大事に)

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	様々なシーンで「腰骨を立てます」を合言葉にしながら活動を進める
<input checked="" type="checkbox"/>	クラス独自の合言葉など、子どもに合った声掛けを行いながら活動を進める
<input checked="" type="checkbox"/>	子ども達同士で良い刺激をしようという言葉掛けを行う

- ・ 活動に意欲的に取り組む手法としては、一定の成果が得られていると感じています。一方で、保育者の言葉掛けが無くとも子どもが自発的に意欲を高める環境構成については、研究を深めていかねばならないと感じています。

- ⑥ 発達年齢に応じた語彙力に着目し、子どもの「つぶやき」を一つでも多く拾う。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	保育日誌に「子どもの気持ちやセリフ」という欄を設け、子ども目線の表現を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	自分の気持ちを言葉で言えるよう、問い掛けの言葉を工夫する

- ・ 当面はこの日誌の形を継続し、子ども理解に繋げていきます。

- ⑦ 家庭と連絡を密接に行い、園児の理解を深め、その情報を保育に活用する。

評価:「A」

<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの体調や仕草で気になる事は家庭に聞いて情報収集する
<input checked="" type="checkbox"/>	園でのポジティブな様子を電話やメモで報告する

- ・ こまめに家庭と情報共有をする習慣が園には染みついているので、引き続き実践していきます。

## ◎親子教室と2歳児保育の実施

家庭との連携事業として、子どもの健全育成を目的に幼稚園入園前二年間、親子教室（キャンディ組）2歳児、（とまと組）1歳児、（プチトマト組）0歳児を実施する。教室を通して地域住民との相互交流を図り地域の一体感と連帯意識を深め、家庭機能の維持向上につなげる。

又、2歳児保育の実施により、理念に沿った保育の基礎を作る。

### 評価:「A」

☒	保護者と教員とのふれあいを重視し、子育ての心配事の話を書いたり、相談に乗る
☒	保護者同士、子ども同士の関わりを持てるような楽しい内容の保育を実践する
☒	自然に親しみ、収穫の喜びを味わってもらう
☒	新ひのお台幼稚園を知って頂く為のプログラムを考え、親子で楽しんでもらう
☒	後期から入園・入会に繋がるプログラムを用意し、入園・入会への不安を減らす

- ・ 親子教室では、親子のふれあいを楽しめるプログラムを用意すると共に、保護者同士のコミュニケーションの場とし、育児について気軽に話せる場作りを行ってきた。
- ・ 活動内容も、園内での様々な活動、ファミリーファームではぶどう狩り、みかん狩り等自然に親しみ、当園の雰囲気を知って頂く機会も多く用意した。

## ◎行事報告

1 学 期	4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キックオフ研修 ○ 音楽研修 ○ 入園・進級式 ○ 記念写真撮影</li> <li>○ 二測定 ○ Zoom 個人懇談(希望者) ○ 内科検診</li> <li>○ 園外保育(年少～長) ○ かきかた開始(年長希望者)</li> </ul>
	5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2・満3歳児保育開始 ○ 健康診断(園医) ○ 尿検査</li> <li>○ 歯科検診(園医) ○ 花・野菜づくり ○ 保育参観</li> <li>○ じゃがいも・玉ねぎ掘り(年中・長親子) ○ 一日動物園</li> </ul>
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歯科衛生のお話 ○ 音楽研修 ○ プラネタリウム鑑賞(年長)</li> <li>○ 2・満3歳児健康診断(園医) ○ こっそり参観(2・満3) ○ 水あそび開始</li> <li>○ プールあそび開始 ○ 視聴力検査(年長)</li> </ul>
	7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ セタあそび ○ 映画館ごっこ(年長) ○ フードコートごっこ(年中)</li> <li>○ トウモロコシ狩り(年少) ○ 個人懇談(希望者)</li> <li>○ ボディペインティング(年中・長) ○ 終業式</li> <li>○ お泊り保育(年長) ○ 夏休みホームクラス(希望者)</li> <li>○ ECEQ®公開保育</li> </ul>
2 学 期	8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲良しデー(夏休み中) ○ 2学期始業式 ○ ぶどう狩り</li> <li>○ ボディペインティング(年少)</li> </ul>
	9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度願書配布 ○ 敬老の日 ○ 二測定</li> <li>○ お月見あそび ○ 音楽研修</li> </ul>
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度願書受付 ○ 運動会(年少～長) ○ 親子運動会(2・満3)</li> <li>○ 大根・いも掘り(年少～長 年少のみ親子)</li> </ul>

2 学 期	11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みかん・柿狩り(全学年) ○ こっそり参観(2・満3)</li> <li>○ 大根掘り(2・満3) ○ PTA 大会 ○ 交通安全教室</li> <li>○ 令和 5 年度新入園児面接・用品販売 ○ 作品展</li> </ul>
	12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ もちつき ○ 消防車来園 ○ 積木ショー(年長)</li> <li>○ 卒園アルバム個人写真撮影 ○ マラソン大会(年長)</li> <li>○ 白菜狩り(年中・長) ○ 個人懇談(希望者)</li> <li>○ 終業式 ○ 冬休みホームクラス(希望者)</li> </ul>
3 学 期	1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お正月あそび ○ 二測定 ○ 音楽研修 ○ 焼き芋</li> <li>○ 防災センター遠足(年長)</li> </ul>
	2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節分 ○ 生活発表会(年少～長) ○ 音楽参観(2・満3)</li> <li>○ ドッジボール大会(年長) ○ 個人懇談</li> </ul>
	3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひなまつり ○ お別れパーティー(年長) ○ お別れ遠足(年少～長)</li> <li>○ 夏みかん狩り ○ 音楽会(年少～長) ○ 親子いちご狩り(2・満3)</li> <li>○ 卒園式 ○ 春休みホームクラス(希望者) ○ ありがとうフェスティバル</li> </ul>